

トークイベント

# 「原爆を生きのびた木

ヒバクジュ  
—被爆樹を知っていますか?—

1945（昭和20）年8月、広島と長崎に原子爆弾が投下されました。

「70年は草木も生えない」と言われた焼け野原で、再び芽を吹き返し、今も生き続けている木々があることをご存知ですか？

広島市では爆心地から約2キロ以内で被爆し、現存する161本を「被爆樹木」として登録。長崎市ではクスノキ、ソテツ、カキなど、30か所の木が登録され、保護されています。

“被爆樹”とは何なのか、“被爆樹”のそばで何が起こったのか。

1本1本を訪ねて撮影し、木を守る被爆者の方々に話を聴いてきた杉原梨江子氏にわかりやすくお話しいただきます。

## 【講師】杉原 梨江子 氏（文筆家）

広島県生まれ。叔父が被爆体験証言者。

日本の木の文化、世界の木、花、薬草にまつわる伝承や神話、思想を中心に、人間と植物の交流の歴史を研究。

また、ライフワークとして、原爆、戦争、震災を生き延びた木々を訪ねて、当時の記憶がある人々から話を聴き取り、後世に伝える執筆、講演活動を続けている。

2015年には広島の被爆樹についてまとめた『被爆樹巡礼』を出版した。

日本文藝家協会会員。

著書『被爆樹巡礼～原爆から蘇ったヒロシマの木と証言者の記憶』（実業之日本社）、

『神話と伝説にみる 花のシンボル事典』（説話社）、『聖樹巡礼』（PHP 研究所）等。



日 時：2017年11月23日(木・祝) 10:30～12:00

会 場：長崎市立図書館 2階閲覧席（地域資料コーナー付近）

定 員：15名程度

参加費：無料

申込方法：カウンターまたは電話（095-829-4946）にて

【ミニ写真展】1階クロスロードにて、被爆樹のミニ写真展も開催！ぜひご覧ください。

日時：11月8日（水）～30日（木） ※火曜休館

